

特区制度の活用事例

開発から生産まで一貫した拠点化が進展

【環境配慮型自動車】

○エンジンやトランスミッションなどの開発拠点「ダイハツグループ九州開発センター」を整備〔ダイハツ工業〕

○技術部門の総合的な拠点「テクニカルセンター」を整備〔トヨタ自動車九州〕

【パワー半導体】

○パワー半導体の開発拠点「パワーデバイスイノベーションセンター」を整備〔三菱電機〕



トヨタ自動車九州
テクニカルセンター



パワー半導体

県内各地で設備投資が決定

【産業用ロボット】

○産業用ロボット、高効率モーターの開発・生産設備を増強〔安川電機〕

【環境配慮型自動車】

○低燃費エンジンの生産ラインを増強〔ダイハツ九州〕

○自動車部品サプライヤーが県内に次々進出〔林テレンプ、ニッパツ九州、ROKI 福岡ほか〕

【水素】

○燃料電池自動車の普及を支える水素ステーションの整備が進展（県庁内を含む 10 か所）

○九州大学が次世代燃料電池の大規模実証を実施。平成 29 年 8 月、市場投入が実現

【レアメタルのリサイクル】

○北九州市、大牟田市を中心に、使用済み電子機器などからのレアメタル回収設備を導入
〔日本磁力選鉱、三井金属鉱業ほか〕



産業用ロボット



水素ステーション

グリーンイノベーション研究シーズの産業化が加速

【LED】

○自在に蛍光色を作り出せるナノ蛍光体の新たな製造拠点を整備〔NSマテリアルズ〕

【IoTデバイス】

○省電力で広域をカバーできる無線モジュールの開発・製造拠点を整備〔Braveridge〕

【特殊空調設備】

○有毒ガス濃縮処理装置などの産業用特殊空調設備の開発拠点「イノベーションセンター」を整備〔西部技研〕



有毒ガス
濃縮処理装置